

装備の知識について

アウター・リヤ・ビュー・ミラー

エンジン・フード

ヘッド・ランプ



ドア・アウトサイド・ハンドル

サイド・ターン・シグナル&
ハザード・ウォーニング・ランプ

フロント・ターン・シグナル&
ハザード・ウォーニング・ランプ

クリアランス&パーキング・ランプ

トランク・リッド

テール&パーキング・ランプ

反射器

ターン・シグナル&
ハザード・ウォーニング・ランプ

テール&ストップ・ランプ

バック・アップ・ランプ

ライセンス・プレート・ランプ

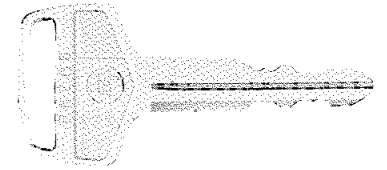


コロナ マークII ハードトップ GL車

ご乗車の前に——

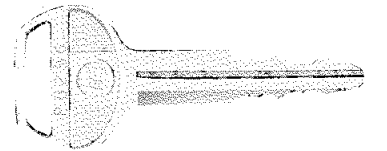
■キーの確認をしましょう

マスター・キー



(すべてのキー・シリンダーに使用)

サブ・キー

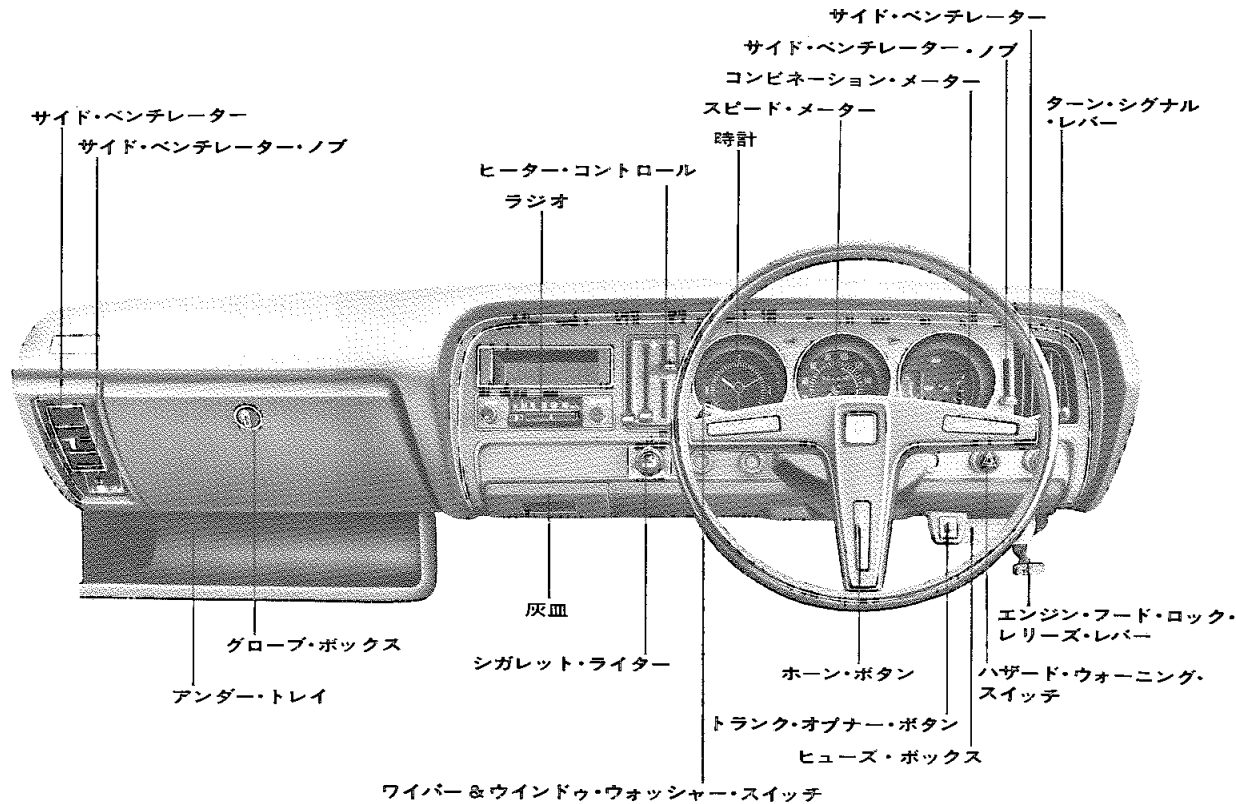


(トランクとグローブ・ボックス以外のキー・シリンダーに使用)

サブ・キーはトランクとかグローブ・ボックスに貴重品を入れたままキーをつけて車を預けるときのなどにお使いください。

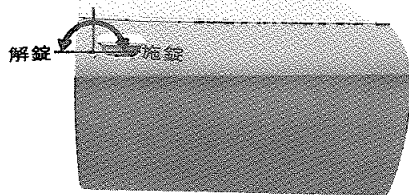
重要事項

キー・ナンバーをひかえておきましょう。万一、キーを紛失された場合でも取扱店にお知らせいただければ、スペア・キーを作ることができます。

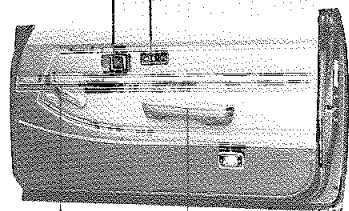


コロナ マークII ハードトップ GL車

■ドアについて



ドア・インサイド・ハンドル
ドア・ロック・レバー



アーム・レスト
ウインドウ・レギュレーター・ハンドル

ドアを開けるときは

車外から……ドア・アウトサイド・ハンドルを持ち上げます。

車内から……ドア・インサイド・ハンドルを手前にひきます。

★注意★

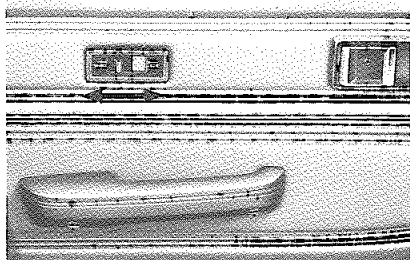
必ず後方確認をしましょう。いきなりあけると後続車がぶつかる恐れがあります。

ドアを閉じるときは
確実にしめましょう。

★注意★

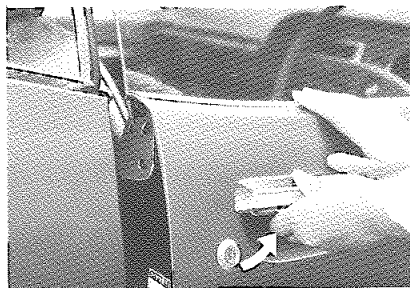
半ドアの状態では、運転中ドアが開く恐れがあります。

ドアをロックするときは
車内から……



ドア・ロック・レバーをロックの位置にします。

車外から……



ロック・レバーを、ロックの位置にしてドア・アウトサイド・ハンドルの内側のレバーを引き上げたままドアを閉めます。

★注意★

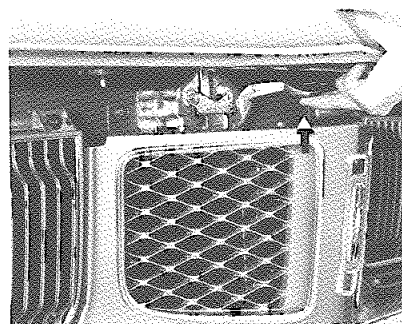
キーを車内に置き忘れないようにしましょう。

■エンジン・フードを開けるには



①計器盤下のノブを引きます。

ロックがはずれ、セーフティ・ラッチがかかった状態になります。



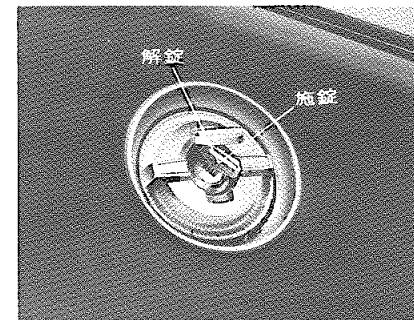
②エンジン・フードのすき間に手を入れセーフティ・ラッチをはずしエンジン・フードをいっぱい開けます。

③閉じるときは、フードをさげて前端を押えつければロックします。

★注意★

フードが半ロックの状態では走行しないでください。

■ガソリンを補給するには

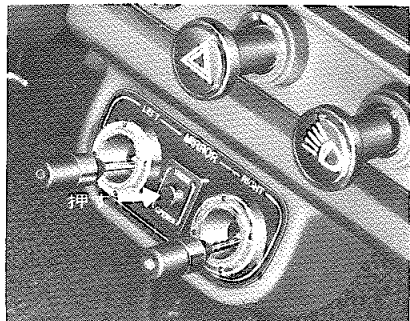


キーでロックをはずしキャップを左にまわします。

使用ガソリン

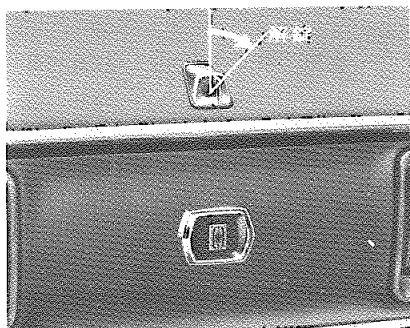
	レギュラー	ハイオクタン
エンジン型式	16R, 18R, 18R-BR	18R-B
	18R-E, 18R-GR	18R-G
	M, M-BR, M-E	M-B

■トランクを開けるには
トランク・オープナー



エンジン・スイッチがACCまたはONのときボタンを押すとトランク・リッドが浮き上がります。

キーを使用する場合

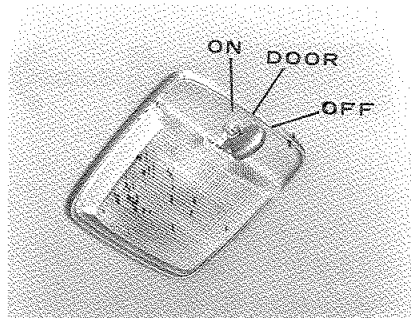


閉じるときは、上から手で押えつくとロックされます。また、GL車以上はライト・コントロール・スイッチがONのときにトランクを開けるとランプが点灯し、トランク内が照明されます。

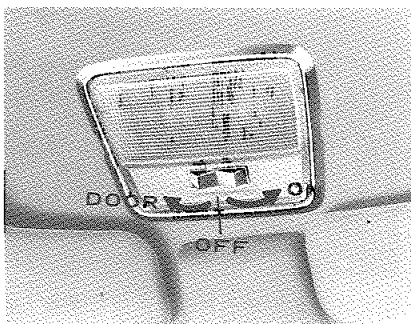
★注意

キーをトランク内に置かないようにしましょう。

■ルーム・ランプとドアの関係は



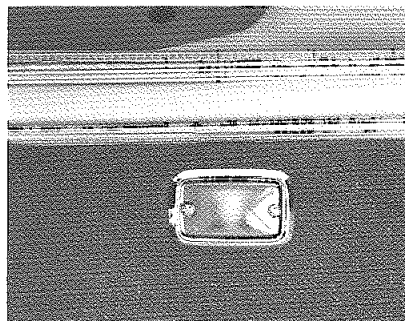
L, LX, LG車



ルーム・ランプ・スイッチは3段になっています。

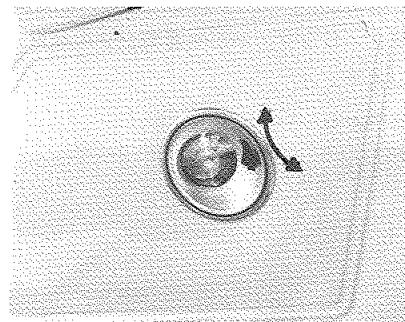
- ONドアの開閉に関係なく点灯
- DOOR ...ドアを開いたときのみ点灯
- OFFドアの開閉に関係なく消灯

■カーテシ・ランプ



左右ドアの足もとに取りつけてあります。ドアを開いたとき常に点灯します。

■リヤ・ルーム・ランプ L, LX, LG車



スイッチを押すと点灯します。

シートについて



リクライニング・アジャスト・レバー
シート・アジャスト・レバー

■フロント・シートの位置を調整
しましょう。

シートの位置調整は、正しいドライビング・ポジションで運転するために必要なことです。

ペダルを十分に踏むことができる、ゆとりのある位置に調整しましょう。

前後位置調整

シート下のレバーを外側に押ししている間、前後に移動できます。

調整後は、シートがロックされたことを確認しましょう。

リクライニング調整

シート・クッション横または、シート・バック横に調整レバーがあります。

レバーを引くと、シート・バックの角度が調整できます。またリヤ席の乗り降り

無断複製禁止

のときは、シート・バックを前にいっぱい倒します。

助手席はシート・バックをいっぱい前に倒すと、シートを前に押し出すことができます。

シート・バックをもとへもどすと、シートは自動的に少しさがりますが、このとき確実にロックするまで後ろにひいてください。

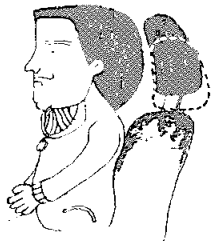
もとの位置へもどすときは、シート下のレバーで調整してください。

注意

シートの位置調整は、車を運転する前に行なってください。車が動いているときの調整は運転姿勢がくずれ危険です。

ヘッド・レストを正しい位置に前に押しして高さを2段に調整できます。上の位置で使用してください。

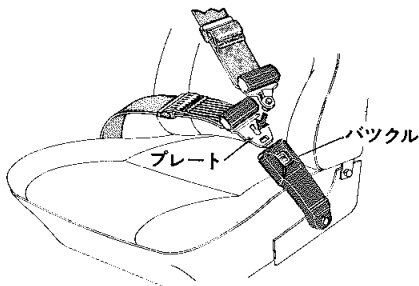
ヘッド・レストの正しい位置



■**セーフティ・ベルトを忘れずに**
運転するときは、必ずセーフティ・ベルトをしましょう。ベルトはいつも清潔にしておきましょう。
また破れがないか点検をしましょう。
なお、汚れを落とすには、中性洗剤でブラッシングして布でふきとってください。
フロント・シート用は標準装備、リヤ・シート用はオプションです。

装着方法

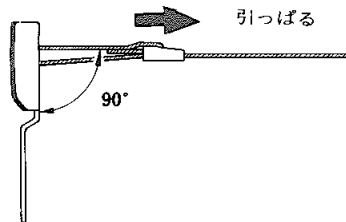
1. シートを運転しやすい位置に調節し腰ベルトをいっぱい引き出し、ねじれていないことを確認します。
2. 肩ベルトを、少し長目に調節して、ねじれていないことを確認してプレートにはめます。
3. 2.でセットしたプレートをバックルにはめ、腰ベルトを体に合うように調節してください。



ベルト装着の正しい状態



ベルトの調整

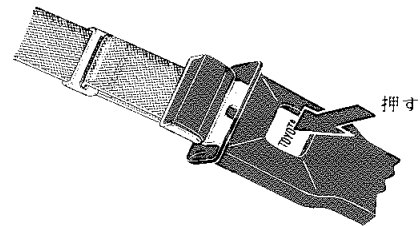


リトラクタからいっぱい引き出し、運転操作の妨げにならない長さに調整します。ベルトをひき出すときは、リトラクタから直角に引き出してください。胸とベルトとの間は、にぎりこぶしがある位の余裕があるように調整します。

注意

1. 1本のベルトを2人で使用することは、やめてください。
2. お子様を使用することはやめてください。

取りはずし



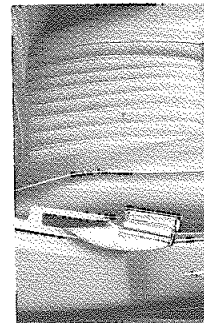
腰ベルトは、バックルをドア側に向けて、すこし引き上げるとゆっくりまきもどされます。

また、短時間車から離れ、再び運転をするときは肩ベルトはバックル・プレートに取り付けたままにしておいても差つかえありません。

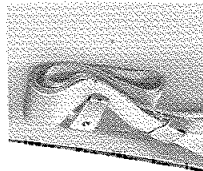
格納方法

空席のベルトは図のように格納しましょう。

〈腰ベルト〉



〈肩ベルト〉



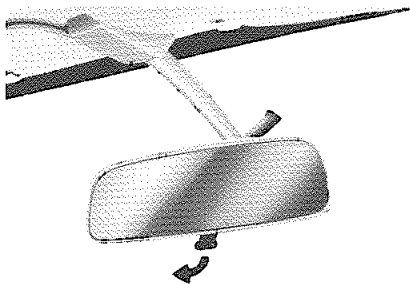
■ミラーの調整をしましょう。

インナー・リヤ・ビュー・ミラー

アウター・リヤ・ビュー・ミラー

後方視野が十分に確認できる位置に調整
しましょう。

防眩式インナー・リヤ・ビュー・ミラー



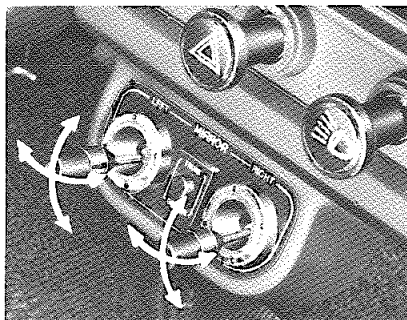
夜間走行の場合、後続車のライトがイン
ナー・ミラーに写り、まぶしいときに使用
します。

ミラーの下にあるレバーを手前にひくと
後続車のライトの反射が弱くなり、後続
車が確認しやすくなります。

防眩が必要なくなったときは、レバーを
押しもとの位置にします。

リモート・コントロール・ミラー

LG車標準
LA,L,LX車オプション

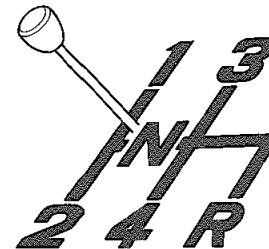


左右のノブの動きは、アウター・リヤ・
ビュー・ミラーと連動になっていますの
で、後方視野が十分確認できる位置に調
整しましょう。

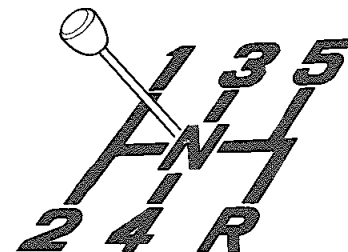
シフト・レバーの各 レンジ

■マニュアル・トランスミッション

4速フロア・シフト

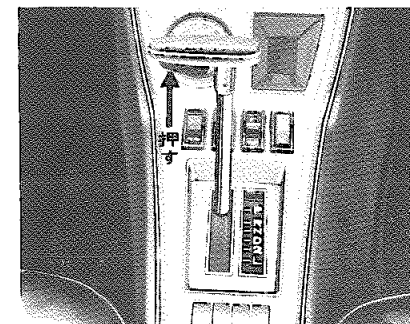


5速フロア・シフト



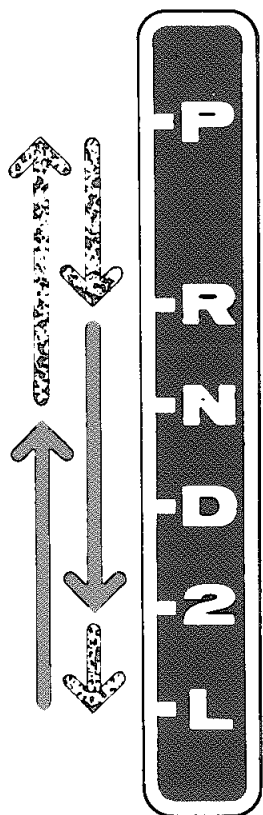
■オートマチック・トランスミッション

〈各レンジへの入れ方〉



→ そのまま動かします。

⇄ コントロール・レバー・ボタン
を押して動かします。



Ⓟ パーキング・レンジ……駐車するときとエンジンを始動する位置

Ⓡ リバース・レンジ……車をバックさせるときの位置

Ⓝ ニュートラル・レンジ……エンジンを始動させる位置

Ⓧ ドライブ・レンジ……通常走行する位置

② セカンド・レンジ……エンジン・ブレーキが必要なときに使う位置

Ⓛ ロー・レンジ……強いエンジン・ブレーキが必要なときに使う位置

〈運転のしかた〉

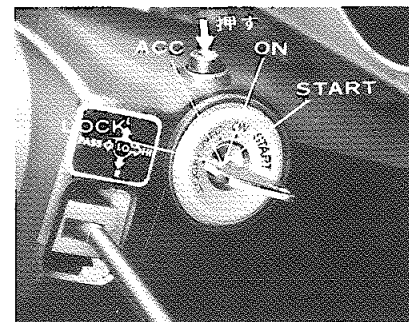
- 通常は①で発進するとロー・ギヤからスピードによりセカンド・ギヤに、トップ・ギヤにと自動的にかわります。
- マニュアル・ドランスミッション車と同様に、①から発進し、②から①へと手動の操作でも運転できます。
- 急坂路をくだるときは、スピードに応じて①または②に入れて、エンジン・ブレーキをかけます。
- 追い越しなどで急加速をしたいときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、レバーは①でも、ギヤはトップからセカンドまたはロー・ギヤに切り換って急加速ができます。
(キック・ダウン操作)

★ 注意

1. エンジンを始動するときは、必ずパーキング・ブレーキを引きⓃまたはⓅにしてください。
2. ⓅとⓇへは、必ず車が完全に止まってから、入れてください。
3. 停車中ⓃまたはⓅ以外ではエンジンを高回転にしないでください。
4. アクセル・ペダルを踏み込んだまま、Ⓝから①またはⓇへ切り換えることは危険です。必ずペダルを離してから①またはⓇへ切り換えてください。

スイッチ、メーター類について

■ エンジン・スイッチ



- LOCK …… キーを抜き差しできる位置。キーを抜くとハンドルがロックされ盗難防止に役立ちます。
- ACC …… エンジンを止めたまま、ラジオおよびカー・ステレオの開ける位置。
- ON …… エンジン運転中の位置。
- START …… エンジンを始動する位置。手を離せば自動的にONにもどります。

ロック

キーをACCからLOCKの位置にするときは、プッシュ・ボタンを押さえて回します。

アン・ロック

キーがLOCKからACCにまわらないときは、ハンドルを軽く左右にまわしながらエンジン・キーをACCの方向にまわすとはずれずれます。

★注意

1. エンジン停止時、スイッチはLOCKまたはACCの位置にしておきましょう。長時間停止するときはLOCKの位置にしてください。
ONの位置で放置するとバッテリーあがりの原因になります。
2. エンジンがかからないとき、無理にそのままSTARTの位置で長時間回さないでください。
バッテリーがあがります。
3. エンジンを止めてラジオまたはカー・ステレオを長時間つけておくとバッテリーあがりの原因になります。
4. エンジンがかかっているとき、キーをSTARTの位置に回さないようにしましょう。スターターが無理にかみあい破損します。
5. 走行中はキーを絶対にLOCKの位置まで回さないでください。
ハンドルがきれなくなり危険です。

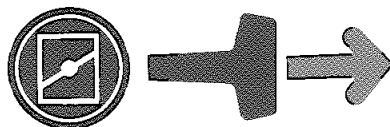
■チョーク

オートマチック・チョーク付車は寒冷時、エンジンを始動するときに、自動的にチョークがはたらいで、始動を容易にするようになっています。

オートマチック・チョーク付車以外は、チョーク・ボタンで操作します。

チョーク・ボタン

18R - B(R), M - B(R), 18R - G(R)車



エンジンが冷えているときには

1. チョーク・ボタンをいっぱい引きます。
2. アクセル・ペダルを踏み込まないでエンジンを始動します。
始動後エンジンの回転が不円滑な場合は円滑になるまで、ペダルを踏み込んでください。
3. 始動後エンジンの回転数が2000回転程度になるようチョーク・ボタンをもどして十分暖機運転をします。
4. エンジンが暖まるに従って、チョーク・ボタンを除々にもとにもどします。

★注意

エンジンが暖まったらチョーク・ボタンは必ずもどしてください。
チョーク・ボタンをひいたままにしておくと、エンジンが不調になったり、燃料消費が多くなります。

GSS車はチョーク・ボタンを引くと吸気音が出ますが異常ではありません。

オートマチック・チョーク

- ①エンジンを始動する前にアクセル・ペダルを次のように踏み込みます。

外 気 温	踏 む 回 数
+ 5°C以上	軽く1回
+ 5°C～-10°C	いっぱい1～2回
-10°C以下	いっぱい2～3回

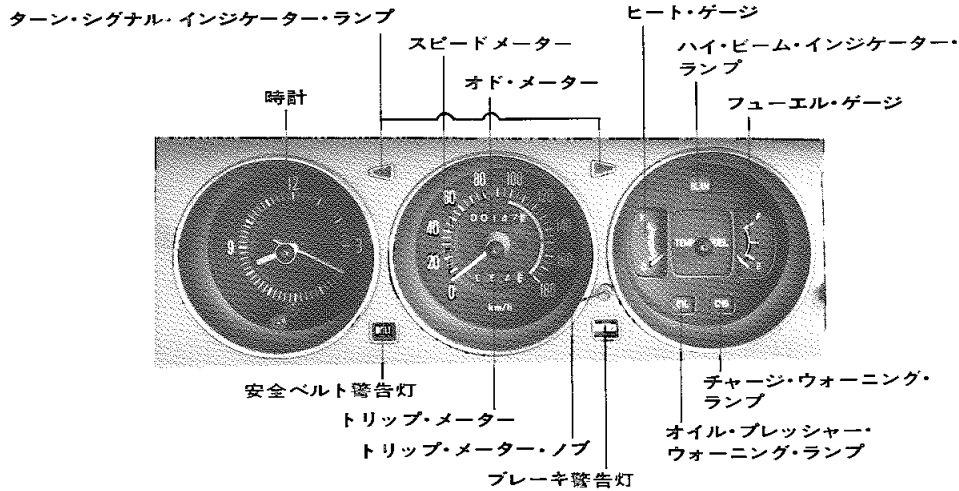
- ②アクセル・ペダルから足を離しエンジンを始動します。
- ③しばらく暖機運転をします。
オートマチック・チョークが働いている間は、アイドル回転数は通常より高くなっているためアクセル・ペダルを踏んでいる必要はありません。
- ④エンジンが暖まってから再びアクセル・ペダルを踏み込んでから離します。
アクセル・ペダルを踏み込むと、チョークがもどりアイドル回転になります。

★注意

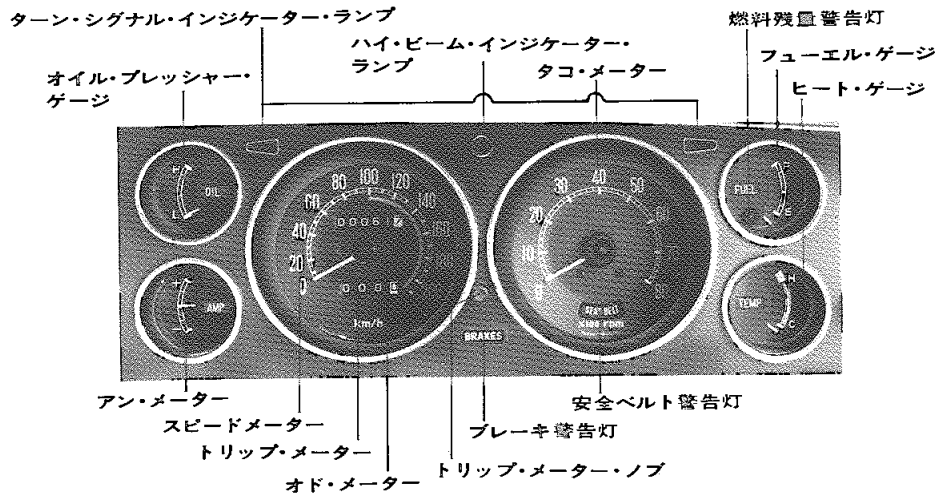
EFI車の寒冷時始動は、いったんエンジン・スイッチをONの位置にし、約1秒後にアクセル・ペダルを踏まずにスターターを回しますと始動時間が短かく容易になります。

■メーター

3眼メーター付車……DX, GL, LA

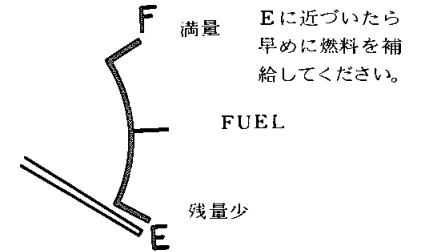


6眼メーター付車……GSL, GSS, L, LX, LG



■フューエル・ゲージ〈燃料計〉

エンジン・スイッチがONのときにフューエル・タンク内の燃料の量を示します。エンジン・スイッチがON以外では、指針はEより下の位置にあります。



■燃料残量警告灯 6眼メーター付車

エンジン・スイッチがONのときフューエル・タンク内の残量が10ℓ以下になると点灯し警告します。

■ヒート・ゲージ〈水温計〉

エンジン・スイッチがONのときに冷却水温を示します。

エンジン・スイッチがON以外では、指針はCより下の位置にあります。指針がレッド・ゾーンを示すときは、冷却水の有無、漏れおよび、ファン・ベルトのゆるみ等について点検してください。イエロー・ゾーンまでは走行してさしつかえありません。

■チャージ・ウォーニング・ランプ

〈充電警告灯〉

エンジン回転中、充電系統が異常のときに点灯し(赤色)警告します。

ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

■オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ

〈油圧警告灯〉

エンジン回転中、潤滑系統が異常の時に点灯(赤色)し警告します。点灯したままのときはオイル量を調べてください。

ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

■ブレーキ警告灯

①エンジン・スイッチがONのとき、パーキング・ブレーキ・レバーを引くと点灯(赤色)し、レバーを戻すと消えます。

②レバーを戻しても消灯しないとき、または走行中ブレーキ・ペダルを踏まなくても点灯したときは、ブレーキ・フルードが規定レベル以下になっている(GL, LA, GSS車のみ)かまたはESCが故障している(ESC付車)ことを警告します。

③エンジン・スイッチがONで、パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態(点灯)のときブレーキ・ペダルを踏むと、ブレーキ配管系統に異常がなければ警告灯は消灯します。

④③の状態が消えない場合、またはブレー

キ・ペダルを踏んだ時に点灯した場合には、ブレーキ配管系統に異常がある(油圧が上らない)ことを警告します。

■ハイ・ビーム・インジケータ・ランプ

ヘッドランプがハイ・ビームのとき、ハイ・ビーム・インジケータ・ランプが点灯(青色)します。

■ターン・シグナル・インジケータ・ランプ

右折または左折のとき、それぞれのターン・シグナル・インジケータ・ランプが点滅(緑色)します。

■安全ベルト警告灯

パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態で、エンジン・スイッチをONにすると点灯(赤色)し、セーフティ・ベルトを装着すると消灯します。

■スピードメーター

指針は車の走っているスピードを示し、約100km/h以上になると、チャイムが鳴り警告します。チャイムが鳴っているとき、指針が振れることがありますが、異常ではありません。

■オド・メーター

走行した総距離をkmの単位で表わします。白字に黒文字は、100mの単位です。

■トリップ・メーター

オド・メーターと共に走行した距離を表示します。ある区間または期間に走行する距離を知りたいとき0にもどして使用

します。0にもどすときは、トリップ・メーター・ノブを押せば0にもどります。

■タコメーター 6眼メータ付車

エンジン回転数を示します。

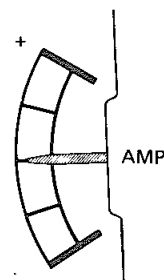
赤色の部分をレッド・ゾーンといい指針がレッド・ゾーンにあるときは、エンジンがオーバーランをしていることを示します。指針がレッド・ゾーンにはいらないようにしてください。

GSL車 6,500回転以上

GSS車 7,000回転以上

L, LX, LG車 6,000回転以上

■アン・メーター 6眼メータ付車



指針の位置

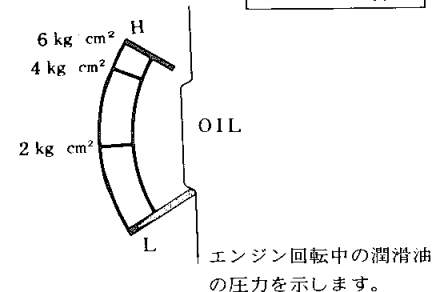
{ +側……充電状態
-側……放電状態

エンジン始動後、指針は⊕側に一時大きく振れますがその後除々にもどり、わずかに⊕側を指示する状態で静止すれば正常です。

エンジン始動後も⊖側を指示するときは、フォグ・ランプなどの電気の使いすぎか、充電系統の故障が考えられます。ヘッドランプ、フォグ・ランプなどを消してもなお⊖側を指示するときは点検が必要です。

■オイル・プレッシャー・ゲージ

6眼メータ付車

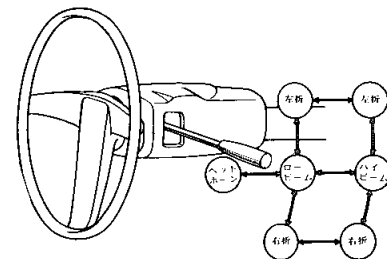


エンジン回転数を上げても指針が動かないときは潤滑系統に異常がありますので、エンジンをただちに止めて、オイル量を点検してください。オイル量が正規であれば、他のところに故障があります。

■時計

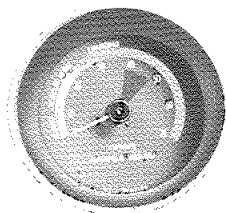
時刻調整は、つまみを手前に引いたまま回して行ないます。

■ターン・シグナル・レバー



■F/Dモニター

16R, 18R 5 M-F車
オプション



エンジンのバキュームを表わしています。加速時には、ACCELERATION 安定走行時には、CRUISING の範囲で運転すると経済的な走行に役立ちます。メーターの目盛は内側が低速時、外側が高速時に使用してください。

ターン・シグナル・スイッチとして……
右左折のとき上図のように操作します。操作した側のターン・シグナル・ランプが点滅するとともにターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅します。ハンドルをもとにもどすとレバーは自動的にもどります。ハンドル操作が少ないときスイッチが自動的にもどらない場合があります。このときは手でもどしてください。

ヘッドランプ・ホーン・スイッチとして……
レバーをロー・ビームの位置から手前に引いている間ヘッドランプのハイ・ビームが点灯します。

高速道路で先行車を追い越すときなどの合図として使います。

ヘッドランプ切り換えスイッチとして……
夜間先行車や対向車のあるときはロー・ビームにしてください。

■残光式ヘッドランプ L, LX, LG車

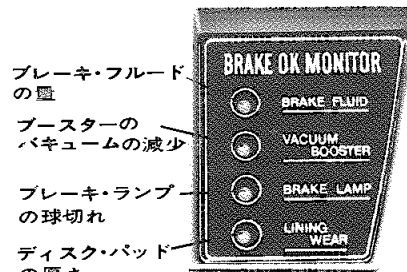
ヘッドランプを消したあと、ドアをあけてから、ターン・シグナル・レバーをヘッドランプ・ホーン的位置にすると、ヘッドランプが約20秒間点灯して消えます。夜間の車庫入れ後の足もとの照明などにご使用ください。

残光式ヘッドランプの操作をした後、すぐ消灯したい場合は、ライトコントロール・スイッチを引き出して、またすぐ押しこめばヘッドランプは消灯します。

■ブレーキ・OKモニター

ブレーキに関する4項目の異常を警告します。

GSL, L, LX, LG車標準
GL車はオプション



ブレーキ・フルードの量

ブースターのバキュームの減少

ブレーキ・ランプの球切れ

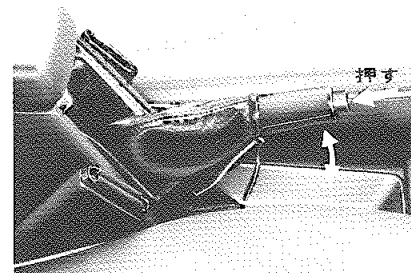
ディスク・パッドの厚さ

1. エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると4個の発光素子が点灯します。発光素子の点灯はエンジン始動後、数秒間続きその後消灯します。
2. エンジン回転中に検知個所に異常があれば、該当個所の発光素子が点滅し同時に警告音が異常を知らせます。異常個所が発見されたら、ただちに車を止めて最寄りの取扱販売店へ連絡しましょう。

■注意

OKモニターだけで作業点検を済ませず、お出かけ前の点検はエンジン・フードを開けて行ってください。

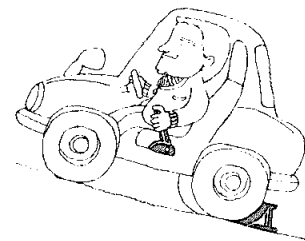
■パーキング・ブレーキ・レバー



駐車時、いっぱい引いて使用します。もどすときは、レバーをかるく引きあげながら、レバー先端のノブを押えてもどします。

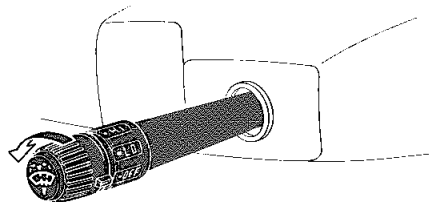
■坂路での駐車は……

パーキング・ブレーキを引いた上、ギヤをローまたはリバース(オートマチック車はパーキング・レンジ)に入れ、さらに上り坂では後輪に、下り坂では前輪に輪止めをします。



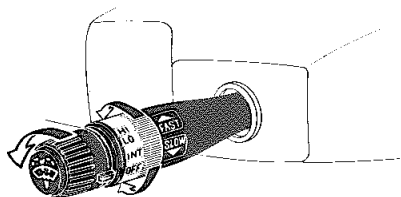
■ワイパー&ウォッシャー・スイッチ
エンジン・スイッチがONのときに作動します。

ワイパー・スイッチ **DX, GSS車**



LO……低速 普通雨量のとき
HI……高速 雨量の多いとき

GSSを除くGL車以上



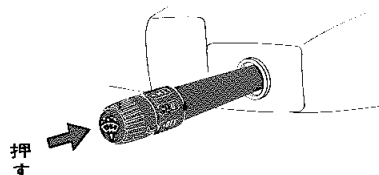
INT……4～12秒おきにワイパーが1回作動します。
雨量の少ないときに使用してください。
スピード調整ツマミで、ワイパー停止時間を4(ファスト)～12秒(スロー)まで調節することができます。

LO……低速 普通雨量のとき

HI……高速 雨量の多いとき

スイッチを切ると、ワイパーは動き始めの位置までもどって止まります。

ウォッシャー・スイッチ

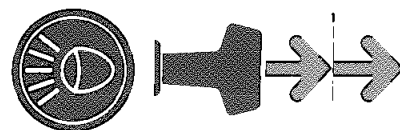


ウインドウ・ウォッシャーはワイパーと連動式になっています。スイッチを押すとウォッシャー液が噴射され、同時にワイパーが数回作動し止まります。
ウインドウ・ガラスがよごれているときに使用します。



1. 汚れたまま使用するとガラスに傷が付き、ウインドウ・ガラスが汚れているときは、ウォッシャー液噴射後ワイパー・スイッチを入れてください。
2. ウインドウ・ウォッシャー液がカラのときは、スイッチをまわさないでください。まわすとポンプをいためる恐れがあります。

■ライト・コントロール・スイッチ



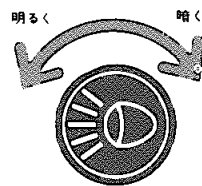
エンジン・スイッチに関係なくランプが付きません。

①および②の位置でそれぞれ次の○印のランプが点灯します。

灯 火 名	①	②
ヘッドランプ	○	○
クリアランス・ランプ, テール・ランプ	○	○
ライセンス・プレート・ランプ	○	○
メーター・パイロット・ランプ	○	○

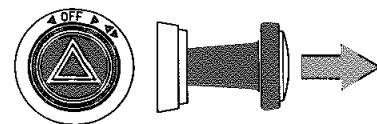
メーター・パイロット・ランプの明るさ調整

GSSを除くGL車以上



ライト・コントロール・スイッチを左右にまわすと、メーター・パイロット・ランプの明るさがかわります。
周囲の明るさに応じて調整してください。

■ハザード・ウォーニング & パーキング・スイッチ
ハザード・ウォーニング・スイッチとして

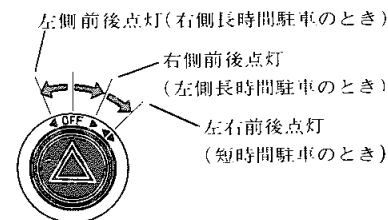


故障して、路上駐車するとき他車の追突防止のため使用します。

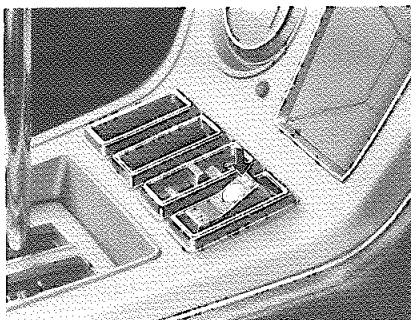
スイッチを引くと、前後左右のターン・シグナル・ランプとともに、ターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅し、駐車していることを知らせます。



ハザード・ウォーニング・スイッチは非常の場合以外は使わないようにしましょう。
走行中、トンネル内などで使用すると他車の誤解をまねき危険です。
パーキング・スイッチとして
夜間路上駐車時使用します。



■リヤ・ウィンドウ・デフォガ・スイッチ
フロアシフト車

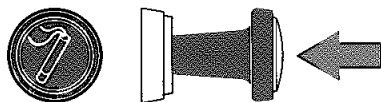


リヤ・ウィンドウが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りをとります。スイッチをONにすると、スイッチ内部の照明ランプが点灯し、作動していることを示します。

★注意

デフォガは消費電力が大きいので、リヤ・ウィンドウの曇りが消えたらスイッチを切ってください。スイッチを入れっ放しにしておくと、バッテリーあがりの原因になりますのでご注意ください。室内の曇りを取るもので、雪をとく能力はありませんので必要以上に使用しないでください。

■シガレット・ライター



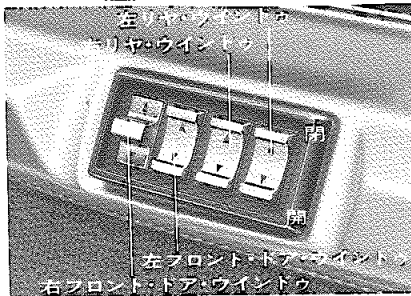
シガレット・ライターは押しこんだらすぐ手を離してとび出すのを待ちます。

★注意

押えつけたままでいると、シガレット・ライターをいためます。

■パワー・ウィンドウ・スイッチ

GSL,L,LX,LG車標準
GL,GSS車オプション



ドア・ウィンドウ・ガラスは、すべてスイッチで開閉できます。

また、運転席からは、すべてのウィンドウ・ガラスがリモート・コントロールできるマスター・スイッチが取り付けられています。

★注意

ウィンドウの開閉は、エンジンがかかっているときに行なってください。

■ESC(電子制御式スキッド防止装置)

L車オプション

＜走行前のチェック＞

ブレーキ・ペダルを踏み、エンジン・スイッチをONにすると、エンジン・ルームから作動音“コトン”が聞こえます。作動音が聞えたら走行してください。ブレーキを踏めばESCは自動的に作動します。

＜走行中のチェック＞

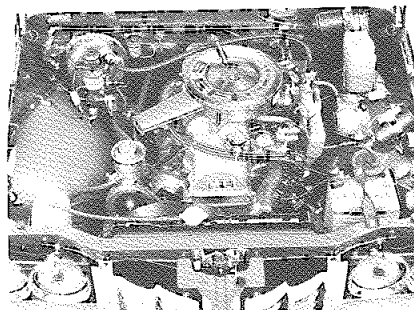
走行中、赤色のブレーキ警告灯が点灯した場合はESCに、故障が生じていますのでサービス工場へ連絡してください。

★注意

万一、ESCが走行中、故障した場合には、普通のブレーキ機構に戻ります。

■EFI(電子制御式燃料噴射装置)

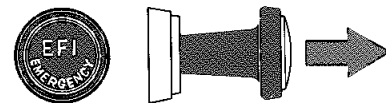
18R-E, M-E車



寒冷時始動について

エンジン・スイッチをいったんONの位置にし、約1秒後にアクセル・ペダルを踏まずにスタータを回しますと、始動時間が短かくて容易になります。

緊急時には



万一エンストや事故などで、エンジンが停止した時、エンジン・スイッチがONの状態でも、燃料ポンプの働きは約2秒後に止まります。

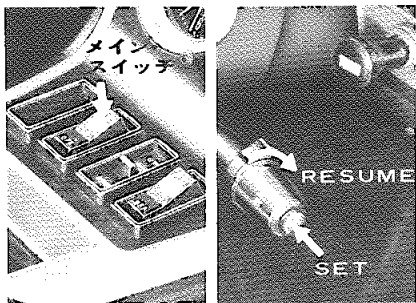
この場合スイッチを手前に引けば、燃料ポンプは前と同じように働きます。“押しがけ、の時に利用してください。

★注意

1. スタータ・モーターを回して始動するときは引く必要はありません。
2. 無線装置を取付けると、エンジンに異常が生じることがあります。この場合は、取扱店でご相談ください。

■オート・ドライブ

L, LG車オプション



オート・ドライブとは車速が一定に保たれる装置で、車速が60km/h～120km/hでセットできます。50km/h以下になると自動的に、解除されます。

希望速度にセットする時

最初に、コンソール・ボックス上のメイン・スイッチをONにし、希望の車速になったらターン・シグナル・レバーの先端のSETボタンを押してアクセル・ペダルを離してください。SETボタンを離れた時の速度にセットされます。

オート・ドライブを解除する時、または解除される時

- (1)ブレーキ・ペダルを踏んだ時
- (2)クラッチ・ペダルを踏んだ時
(マニュアル・トランスミッション車)
- (3)シフト・レバーを⑩にした時
(オートマチック・トランスミッション車)
- (4)パーキング・ブレーキを引いた時
- (5)メイン・スイッチをOFFにした時

車速変更する時

(1)微増速の場合

SETボタンを押してすぐ離すと、もとの車速から+5km/hの範囲内で増速することができます。

(2)減速の場合

SETボタンを押しつづけると、減速されますので、希望の車速になったら、SETボタンを離してください。

(3)増速の場合

そのままの状態でアクセルを踏み、希望の車速になったら、SETボタンを押してください。

解除前の設定速度に戻したい時

<車速が60km/h～120km/hの範囲にあるときののみ>

オート・ドライブ作用時、ブレーキまたはクラッチを作用させてオート・ドライブを解除した後、再びもとの車速にもどりたい時は、レバーをRESUMEの方向へ回してください。

⓫ 注意

アクセルをいっぱい踏んだ瞬間には、メイン・スイッチをONにしないでください。

運転を楽しく、快適に

■ラジオ

ラジオは、エンジン・スイッチをONかACCにして、電源スイッチを押しONにして使用します。

アンテナ

DX, GSS車

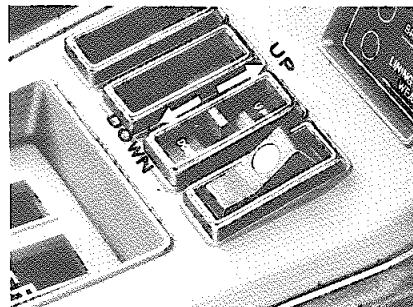
電源が入ると同時にアンテナが1段とび出します。

アンテナをさらにのばしたいときは、手でひっぱり出します。

アンテナはいっぱい押し込むとロックされるので次に使用するときは、再びラジオの電源スイッチをONにします。アンテナはいっぱい伸ばしてお使いください。

モーター・アンテナ

GL車以上標準
除くGSS車

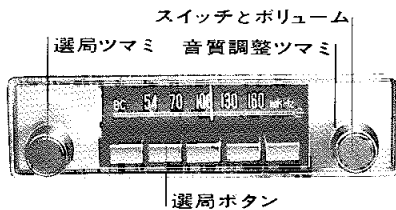


スイッチを前側に押すとアンテナは自動的に上がります。

後側に押すとアンテナは下がります。

AMプッシュ式

DX, GSS車



〈選局ボタンのセットのしかた〉

1. ボタンの1つをいっぱい引き出します。
 2. 左側選局ツマミ(TUNING)で望みの局に合わせます。
 3. 引き出したボタンをいっぱい押し込みます。
 4. 他のボタンも同じ方法でそれぞれの局にセットできます。
- 放送局の違う地域へ行ったなら選局しなおしてください。

〈選局ツマミ〉

選局ボタンでセットした局以外の放送局を選ぶときは左側の選局ツマミで合わせてください。

〈音量調整〉

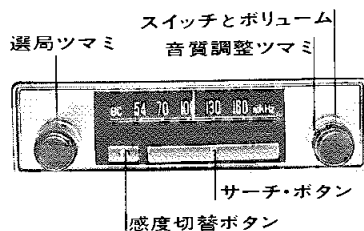
音量調整ツマミ(VOLUME)をまわして好みの音量に調整してください。

〈音質調整〉

音質調整ツマミ(TONE)をまわして好みの音質に調整してください。

AMサーチ・チューナー式

GL, GSL, LA車標準
DX, GSS車オプション



音量調整・音質調整は、プッシュ・ボタン式と同じ取り扱いです。

〈選局のしかた〉

サーチ・ボタンを押すと、指針が自動的に移動し次に受信できる局で止まります。

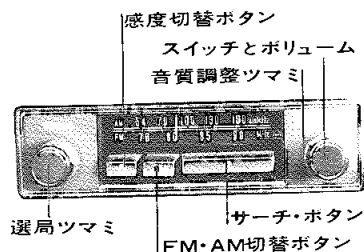
〈感度の切替え〉

山間部などの電波の弱い地域や、遠くの放送電波をキャッチしたいときに、感度切替ボタンを押し込んでください。

もう一度ボタンを押すともとの位置にもどり、近距離の局のみ選局できます。

AM・FMサーチ・チューナー式

L, LX車標準
L, LX, LGを除く車オプション



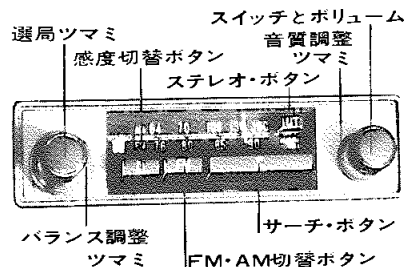
〈FMボタンのセットのしかた〉

FMボタンを押し込むとFM放送が受信できます。FMボタンをもう一度押すとボタンの位置がもとにもどりAM放送受信状態となります。

選局のしかたと感度の切替えはAMサーチ・チューナー式と同じです。

AM・FM・マルチ・ステレオ式

LG車標準
L, LX車オプション



選局のしかた、FMボタンのセットのしかた、感度の切替え、音量調整、音質調整、ともにAM・FMサーチ・チューナー式と同じです。

〈バランス調整〉

バランス調整ツマミをまわすと、音が左右に移動します。

もつともステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。

〈マルチ・ステレオのセットのしかた〉

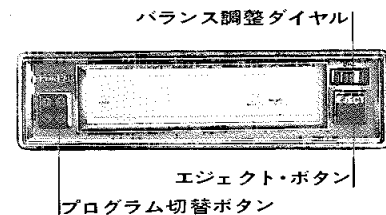
FM放送受信中にステレオ・ボタンを押すとFMステレオ放送を受信できます。ステレオ受信中にはステレオ・インジケータ・ランプが点灯します。

もう一度ステレオ・ボタンを押すとボタンは戻りFMモノラル放送にかわります。

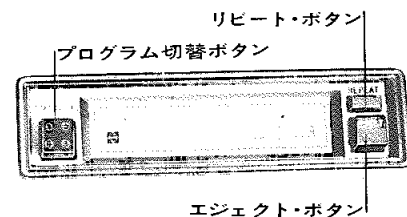
■ステレオ

ステレオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに聞くことができます。

カートリッジ・ステレオ 全車オプション



マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション



エンジン・スイッチがONまたはACCのとき使用できます。

カートリッジ・テープをまっすぐ差しこむと、自動的にチャンネル・インジケータ・ランプがつき演奏が始まります。

〈バランス調整〉

バランス調整つまみをまわすと、音が左右に移動します。

もっともステレオ感のもりあがる位置にこのつまみを調整してください。

マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション仕様のカー・ステレオはラジオのバランス調整つまみで調整してください。

〈音量調整〉

ラジオの音量調整つまみ(VOLUME)をまわして適当な音量に調整してください。

〈音質調整〉

ラジオの音質調整つまみ(TONE)をまわしてお好みの音質に調整してください。

〈プログラム切換〉

演奏中、プログラム切換ボタンを押すと他のプログラムに切換えることができます。

1つのプログラムの演奏が終わると自動的に次のプログラムに切換わります。

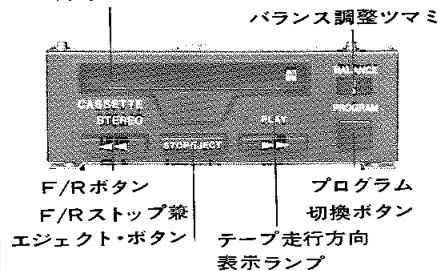
マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション仕様のカー・ステレオはリピート・ボタンを押すとプログラムをくり返すことができます。

★注意

1. テープの保存はテープが露出しないうちにケースに入れ直射日光をさけて保存してください。
2. テープを演奏状態のままイグニッション・キーを切らないでください。回転むらや、テープの巻き込みの原因になります。

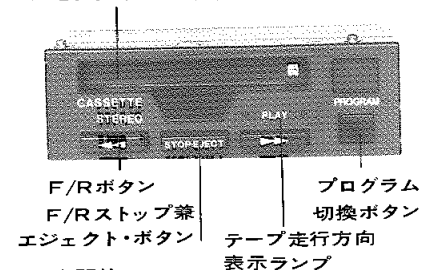
カセット・ステレオ 全車オプション

カセット・テープ・差込口



マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション

カセット・テープ・差込口



〈演奏開始〉

カセット・テープを差込口にまっすぐ“ロック”されるまで差込んでください。自動的にテープ走行方向表示ランプ(PLAY)が点灯し、演奏が始まります。このとき、ラジオの電源スイッチのON、OFFに関係なく自動的に演奏が始まります。

〈音量、音質調整〉

ラジオの音量(VOLUME)、音質調整つまみ(TONE)で調整してください。

〈バランス調整〉

バランス調整つまみをまわすと、音が左右に移動します。

もっともステレオ感のもりあがる位置にこのつまみを調整してください。

マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション仕様のものはラジオのバランス調整つまみで調整してください。

〈プログラム切換〉

プログラム切換ボタンを押すと、プレイ方向表示ランプが切り、テープ走行方向の切換ができ、お好みのプログラムが選べます。

オート・リバース

テープ演奏が終ると自動的にプログラムが切り換わります。

〈早送り(FF)、巻き戻し(REW)〉

F/Rボタンを押すとテープの早送り、または巻戻しができます。

プレイ走行方向表示ランプの点灯は、テープ走行の方向を表わしています。

プレイ・ランプの点灯している方向と同じ矢印表示のF/Rボタンを押すと早送り、逆方向の矢印表示のF/Rボタンを押すとテープの巻戻しができます。

〈早送り(FF)、巻戻し(REW)の解除〉

エジェクト兼F/Rストップ・ボタンを軽く押すとテープの早送り、巻戻しを解除することができます。

〈演奏停止〉

演奏を停止させテープを取り出したいときは、エジェクト兼F/Rストップ・ボタン

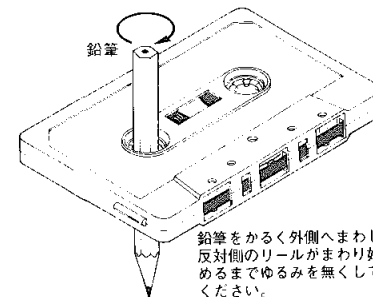
を強く押し込んでください。

カセット・テープが差込口に押し出され同時にテープ・プレーヤの電源もOFFになります。

★注意

1. C-120テープおよびクローム・テープは使用しないでください。テープのまきつきや、ヘッドの摩耗を早めます。
2. テープを演奏状態のままイグニッション・キーを切らないでください。回転むらや、テープの巻き込みの原因になります。
3. カセット・テープを挿入する時は、テープのたるみを直してください。
4. テープの保存はテープが露出しないうちにケースに入れ直射日光をさけて保存してください。

たるんだテープの修正方法



■ヒーター

温度調整レバー

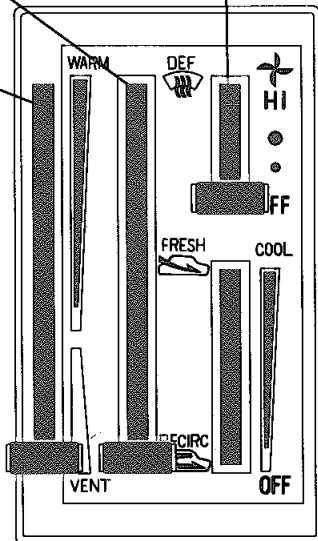
WARM 室内暖房
VENT 室内循環

内外切替レバー

DEF ガラス曇り止め
FRESH 外気導入
RECIRC 内気循環

ファン・スイッチ

HI 強風
● 中風
● 弱風
OFF 停止

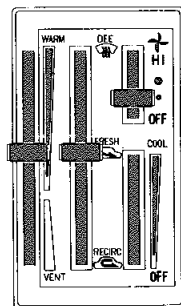


ヒーターは次のような機能をもっています。

- ①ヒーター（暖房用）として
 - ②デフロスタ（曇り止め）として
 - ③ベンチレーション（換気用）として
- スイッチ・レバー操作は、次のようにします。

1. 外気による室内暖房

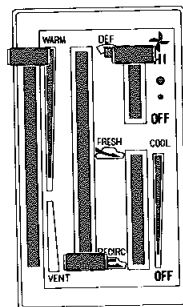
（通常のご使用の場合）



WARMとVENTとの間をもっとも快適な位置に調整してください。

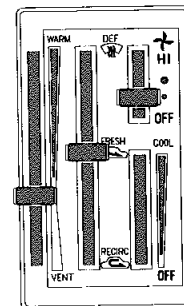
WARMに近づける程、ベンチレーション・ルーバーからの風が強くなります。

2. 内気による室内暖房



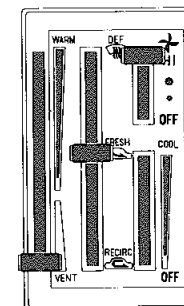
外気をシャット・アウトし、室内空気を暖めて循環させます。窓ガラスが曇ってきたときは外気導入にします。

3. 車を暖めながら換気する操作



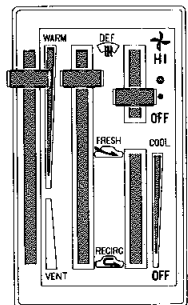
4. 強制ベンチレーション

（夏期ベンチレーション）



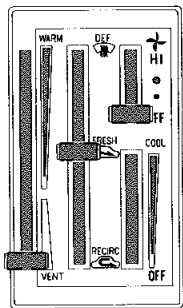
サイド・ベンチレーターも使用すると層効果があります。

5. ガラスの曇りどめ (冬期の場合)



曇り止めのためにはサイド・ガラスを少し開けると一層効果があります。

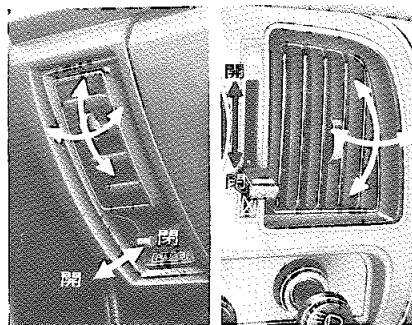
6. ファン停止でも新鮮な空気が導入できる操作 (走行中)



■サイド・ベンチレーター

左側

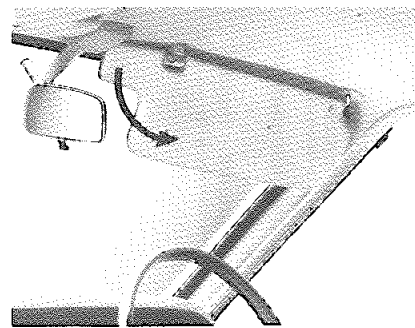
右側



車内の空気を入れかえたいときノブを動かして使用します。

ベンチレーターから新鮮な空気がはいります。また、中央部のレバーを動かすことにより風向きも調節できます。

■サン・バイザー



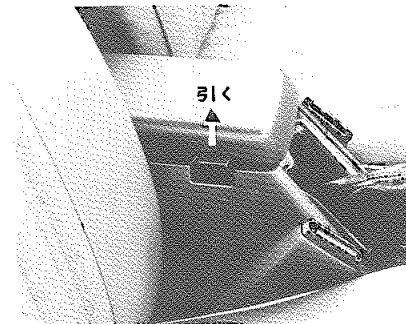
ホルダーからはずすと、横にまわすことができます。

■グローブ・ボックス



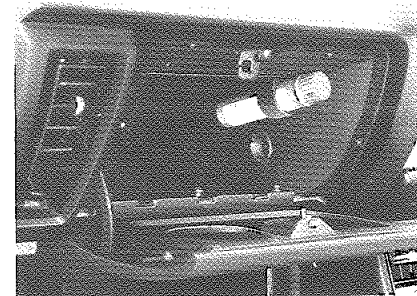
キーで解錠して、つまみを左にまわします。またライト・コントロール・スイッチがONのときにふたを開くとボックス内右横のマップ・ランプがつきます。なおグローブ・ボックスの施錠解錠はマスター・キーで行ないます。

■コンソール・ボックス



運転席側のボタンを引き上げてフタを開けてください。

■保安炎筒



踏み切り内での故障など非常事態が発生したときに使用します。

使用法は保安炎筒をよく読んで万に備えてください。

保安炎筒には有効期限があります。有効期間は3年でラベルに明示されていますので確認しておきましょう。

発炎時間は5分間です。

⚠️注意

非常信号用としてのみご使用ください。使用中、筒の先を顔や体に向けたり、近づけたりすると火傷の危険があります。取り扱いには十分注意してください。また、トンネル内で使用すると視界が悪くなり危険ですので絶対使用しないでください。